

令和4年度

社会福祉法人 朝霞市社会福祉協議会

事業報告

令和4年度 社会福祉法人朝霞市社会福祉協議会 事業報告

目次

I 重点項目の取組み

1. 社協発展・強化計画に基づく 組織体制の基盤強化	1
2. 第4期朝霞市地域福祉活動計画 に基づく重点事業	2

II 事業報告

1. 法人運営事業	4
2. 地域福祉事業の推進	6
3. 相談援助事業の実施	9
4. 福祉資金貸付業務の実施	10
5. ボランティア事業の推進	11
6. 市委託事業の受託経営	15
7. 指定管理事業の受託経営	17
8. その他社協関連事業	26

I 重点項目の取組み

1. 社協発展・強化計画に基づく組織体制の基盤強化

(1) 組織体制の強化

◇専門家による財務会計に関する事務処理体制の強化

税理士による「税務業務」及び社会福祉法人会計に精通する委託業者による記帳代行業務並びに会計処理の効率化に伴う業務を実施し、内部統制の強化を図りました。

◇運営体制の強化

事業評価制度に基づき、事業目的の妥当性、事業の有効性や効率性など検討し、事業の拡張又は改廃や縮小を行いました。また、危機管理体制の整備として、本会全体の事業継続（BCP）計画策定に向けて検討を重ねました。

◇PR力の強化

各部署のTwitterの情報発信回数目標値を設定し、情報発信に対する意識の醸成を図りました。また、新たな素材を加えて掲載写真の刷新を行うなど、マンネリ化防止に努めました。

(2) 人材育成の取組み

◇人材育成指針の策定

法人として求める職員像と目指すべき職員像を明確にするとともに、その実現のための手法や考え方をまとめた人材育成指針策定に向けた取組みを行いました。

◇キャリアデザインの体系化

社協職員としての職員個々の成長を促すため、これまでの自分を振り返り、今後の自分の将来を見据えた「今年度の私の成長目標」を全職員が作成し、必要に応じて、職員面談を実施しました。

◇職員研修制度の充実

オンライン研修等を積極的に取り入れ、コロナ禍においても職員が研修を受講しやすい体制を整えました。また、人材育成指針と連動した職員研修体制の構築に向けて検討を行いました。

(3) 財政基盤の強化

◇経費の有効活用

経費削減チェックリストに基づき、サービスの質を高めつつ、限られた財源の中で有効活用を意識しながら、組織的に経費削減に取り組みました。

◇財源の確保

職員の理解促進及び新たな手法の検討に向けた研修会を行いました。また、募金箱の設置啓発やチラシの配布を通して企業等への働きかけを行いました。

2. 第4期朝霞市地域福祉活動計画に基づく重点事業

【基本目標1】

市民の暮らしを支える仕組みづくり

◇地域共生社会の実現に向けた仕組みづくり

高齢者・障害者・子育て支援等、様々な関係機関と課題や現状について情報交換、意見交換を行い、各関係機関と連携を図りました。また、住民参加型在宅福祉サービス（あいほあと事業）の支援事例を集約し、地域の状況把握を行いました。

◇相談支援体制の充実

福祉に関する様々な相談（児童、高齢者、障害者、就労、生活困窮、権利擁護等）に対応するとともに、各専門機関と連携し支援を行いました。

また、ボランティア保険の出張受付を実施した他、ボランティア活動希望者の相談を受け、地域活動団体、施設等の情報を提供し、活動につながるようコーディネートを行いました。

◇保健医療・社会福祉サービスの充実

介護、障害者支援等の専門機関同士がそれぞれの活動や機能を十分に理解し、支援体制を構築していけるよう研修会を開催しました。様々な関係機関が参加し、連携及び資質向上に向け関係を築きました。また、障害者支援について市民向け講座を開催しました。

◇権利擁護の推進

高齢者や障害のある方で、金銭管理等に不安のある方が安心して生活が送れるよう、福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）の新規契約に向けた支援や、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等の預かりサービスの援助を行いました。

また、成年後見制度（法人後見）について学びを得るために、埼玉県社会福祉協議会権利擁護センター職員を講師に招き、職員研修を実施しました。

その他、施設でのポスター掲示や社協主催の講座などで権利擁護に関する取組みの周知啓発を行いました。

◇生活困窮者等への支援の充実

相談者の生活状況を把握し、生活福祉資金貸付だけではなく、他機関による資源（生活保護、住居確保給付金、ハローワーク等）の情報提供を通して生活再建できるよう支援しました。また、食材の確保が困難な相談者に対し食料支援を行ったほか、市民や企業から食料品等の寄付、寄贈を受け付け、生活困窮者への支援を行いました。

◇地域住民の交流の促進

各施設で事業を実施し、参加者が交流を深められる機会の提供に努めました。また、ふれあい・いきいきサロン、高齢者会食会などの活動団体の運営を支援するため、助成金の交付を行いました。その他、外国人からの相談の際には、外国語の資料を活用するなど、コミュニケーション方法を工夫し支援を行いました。

【基本目標2】

思いやりと支え合いの心づくり

◇地域福祉に関する理解と参加の促進

地域福祉の担い手の育成、福祉活動への参加支援として各施設で実習生やボランティアの受け入れを行いました。また、ボランティア講座の開催や、出前講座について周知・実施し、地域で活躍している団体の活動支援を行いました。

その他、住民参加型在宅福祉サービス「あいはあと事業」の新規協力会員向け講座を開催し、地域の支え合い活動の促進を図りました。

◇支え合い・助け合いの気持ちの醸成

近隣4市（朝霞市、和光市、志木市、新座市）のボランティアセンターが共催で「朝霞地区四市福祉教育研修会」を開催しました。その他、小学校、中学校で福祉教育を実施し、支え合い、助け合いの気持ちの醸成を図りました。

◇地域での見守りの充実

あいはあと事業新規協力会員向け講習会を実施し、地域住民同士が顔の見える関係を築き、地域住民が主体となって見守り活動を行うことの必要性への理解を深めました。また、関係機関等にチラシやパンフレットを配布し、あいはあと事業および見守り活動の周知啓発を行いました。

◇情報共有・発信の充実

広報紙「社協あさか」、ホームページ、ツイッター、フェイスブック、ユーチューブなどの情報媒体を活用し、情報の提供を行いました。また、地域活動団体を訪問する際に広報紙等を持参し、情報の伝達を行った他、商業施設等に働きかけ、広報紙の設置場所拡大に努めました。

◇地域福祉を支える団体の活性化・人材の育成

地域の福祉活動団体に対し、相談支援を行ったほか、募金や会費を財源とする助成金を交付して活動をサポートしました。また、手話やボランティアに関する講座を通して、地域福祉を支える人材の育成に取り組みました。その他、市民活動支援ステーションと連携し、地域デビュー支援セミナーでボランティアセンターのブースを設け、相談支援を行いました。

【基本目標3】

安心で暮らしやすい地域づくり

◇施設等の整備・充実

地域の人が気軽に集うことができる場について、関係機関と情報収集を行いました。また、本会が管理運営する全ての施設において、利用者が安心・安全に利用できるように日頃から点検や修繕を行いました。

◇防災対策の充実

本会が管理運営する全ての施設において、定期的に利用者の特性に応じた防災訓練を行いました。また、市民向けに災害ボランティア講座を開催し、防災について周知・啓発に努めました。

◇防犯対策の充実

本会が管理運営する施設では、利用者に対し防犯情報を周知し注意喚起を行ったほか、児童対象の施設では防犯教室を実施し、防犯に対する意識の啓発を図りました。

◇外出・移動の支援

外出や移動に困難を抱えている人に対し車いすを貸し出した他、子ども用車いす貸出の要望増加に伴い、新規購入し貸出体制を整えました。また、あいはあと事業において外出同行支援を行いました。

◇住まいの確保等への支援

住まいの確保に困難を抱えている人の相談に応じ、各種制度に関する情報を提供した他、生活面で困窮している相談者には生活福祉資金貸付の案内を行いました。

II 事業報告

1. 法人運営事業

理事会、評議員会等を開催し、事業計画並びに資金収支予算を定めるとともに各種委員会の開催など、本会の基幹的業務を計画的に実施しました。

広報活動として、ホームページやツイッター等を活用した社協事業のPRや積極的な情報発信を行い、福祉情報をわかりやすく、迅速に提供しました。

また、働き方改革として、法改正に適合した各種規程の整備を行い、育児休業の積極的な推進など職場環境を整え、職員誰もが働きやすい魅力ある職場づくりに努めました。

◇理事会の開催

区 分	開催年月日	出席数	提出議案
令和4年第3回	令和 4年 6月13日	10人 (監事2人含む)	令和3年度事業報告等 3議案
令和4年第4回	令和 4年 9月 6日	10人 (監事2人含む)	補正予算等 4議案
令和4年第5回	令和 4年12月15日	10人 (監事2人含む)	規程改正 1議案
令和5年第1回	令和 5年 3月17日	10人	事業計画等 6議案(書面決議)

◇評議員会の開催

区 分	開催年月日	出席数	提出議案
令和4年第3回	令和 4年 6月29日	16人	令和3年度事業報告等 2議案
令和4年第4回	令和 4年 9月30日	20人	補正予算 1議案（書面決議）
令和5年第1回	令和 5年 3月28日	12人	事業計画等 3議案

○正副会長会議

理事会・評議員会提出議案等について協議を行いました。

- ・開催回数：3回

◇各種委員会等の開催

○総務・財政委員会

- ・第1回：令和4年 5月25日（出席者4人）
広報紙「社協あさか」7月号（No.186）の編集発行について
令和3年度社協会員募集報告について
令和4年度社協会員募集について
- ・第2回：令和4年 8月24日（出席者5人）
広報紙「社協あさか」10月号（No.187）の編集発行について
- ・第3回：令和4年11月22日（出席者5人）
広報紙「社協あさか」1月号（No.188）の編集発行について
- ・第4回：令和5年 2月22日（出席者5人）
広報紙「社協あさか」4月号（No.189）の編集発行について

○企画委員会

- ・第1回：令和4年 8月24日（出席者4人）
令和3年度事務事業評価について
- ・第2回：令和5年 2月28日（出席者4人）
生活困窮世帯への支援について
地域福祉団体への助成金について

○評議員選任・解任委員会

- ・第1回：令和4年 9月14日（出席者5人）
第28期社会福祉法人朝霞市社会福祉協議会評議員の選任について

◇決算監査・中間監査の実施

○決算監査：令和4年 5月17日

令和3年度業務監査及び会計監査

○中間監査：令和4年11月17日

令和4年度上半期の業務監査及び会計監査

◇社協発展・強化計画の推進

職員による推進委員会を設け、確実な計画推進体制を整備し、本会の使命である、『ともに生きる豊かな地域社会「あさか」の実現』に向けて、経営理念及び運営方針に基づき事業を展開、実施しました。

◇広報紙「社協あさか」の発行及びホームページ等情報ツールの管理

広報紙の定期発行による情報発信とツイッターやホームページ等のSNSを活用した、迅速かつ積極的な情報発信に努めました。

○広報紙「社協あさか」の発行

- ・年4回【7月・10月・1月・4月（各1日発行）】
- ・配布先：市内各世帯（町内会自治会、公共施設等）
- ・発行部数：35,500部/回

○情報発信

	令和4年度	令和3年度
ツイッター	1,486件	988件
フェイスブック	1,329件	794件
ユーチューブ	159件	70件

◇職員研修の実施

研修計画に基づき、階級や年齢に応じた研修を実施、受講しました。

また、社協発展・強化計画と連動・連携し、人材育成や法令順守、社協職員としてのスキル向上を図るため、内部、外部を問わず幅広い研修に参加し、研修終了後の振り返りや伝達研修を行うなど、組織力の向上につながりました。

◇るくるん募金箱設置の推進

るくるん募金箱設置の周知・啓発を行い、新たな設置先を開拓しました。

【寄付金実績報告】

※るくるん募金箱設置か所：10か所（令和4年度末現在）

	令和4年度	令和3年度
個人	延べ14件 274,566円	延べ10件 267,034円
団体	延べ35件 1,607,232円	延べ28件 381,144円
るくるん募金	14か所 57,366円	12か所 46,475円
合計	1,939,164円	694,653円

2. 地域福祉事業の推進

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、住民の方々と協働し地域の生活課題などに取り組み、地域の支え合いの仕組みづくりを行いました。また、地域で活動している地域福祉活動団体に対し、相談支援、福祉情報の発信、助成金の交付など、活動支援を行いました。

◇社協会員の募集

社協活動への理解と参加の促進、及び自主財源の確保のため、地域住民、自治会・町内会、市内外事業所に周知・啓発を行い、会員の募集を行いました。

(一般会員500円以上、賛助会員1,000円以上、特別会員5,000円以上)

○実施期間：令和4年7月1日～令和5年3月31日

○目標額：7,500,000円

○実績額：7,044,829円

○加入状況内訳 ※（）内は、振込による加入

	令和4年度	令和3年度
一般会員	3,690世帯 (0)	3,607世帯 (0)
賛助会員	354世帯 (18)	339世帯 (14)
特別会員	195世帯 (85)	192世帯 (85)
500円未満	1,705世帯	2,058世帯

【社協会員募集説明会】

○対象者：自治会・町内会長

○期 日：令和4年6月9日

○場 所：朝霞市総合福祉センターはあとびあ

○参加者：合計24人

◇赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金活動の実施

地域福祉推進の重要な財源の確保のため、自治会・町内会、関係機関・団体と連携し、共同募金運動を実施し、県共同募金会より各募金の配分金を受領しました。

○配分金額

	令和4年度	令和3年度
一般募金配分金	3,151,000円	3,333,000円
歳末たすけあい募金配分金	3,333,000円	3,435,000円

◇地域福祉活動の啓発・活動支援

住民組織である自治会・町内会に対し、地域の発展と住民の福祉向上を図ることを目的として、前年度の赤い羽根共同募金と社協会員会費実績額の20%を助成しました。

	令和4年度	令和3年度
交付先	自治会・町内会 62団体	自治会・町内会 62団体
助成金額	2,123,290円	2,217,590円

◇第4期地域福祉活動計画の進行・管理

地域福祉活動計画の基本理念・行動目標に基づき、進行の管理を行うとともに、各事業の充実を図りました。

(詳細は2～4ページ参照)

【朝霞市地域福祉活動計画推進委員会】

地域福祉活動計画の進捗状況の確認、及び評価を行うため、朝霞市地域福祉活動計画推進委員会を開催しました。

	期 日	場 所	出席者
第1回	令和4年5月20日	朝霞市総合福祉センター	13人

◇地域福祉活動団体との連携・活動支援

各団体が抱えている課題などの相談を受け、必要に応じて各関係機関と協働し支援を行いました。また、本会以外の助成金情報について情報提供を行いました。あわせて、職員が各団体へ定期的に訪問し、状況確認や顔の見える関係づくりを継続しました。

その他、各団体が主催するイベントや活動情報などを社協ホームページやツイッターで周知活動支援を行いました。

◇地域福祉活動団体等への助成

市内で活動する高齢者、障害者、子育てサロングループや福祉団体等に対して、運営にかかる費用の助成を行いました。

○地域福祉活動（運営費）助成金

	令和4年度	令和3年度
団体数	36団体	33団体
助成金額	1,041,000円	886,967円

○地域福祉活動（事業費）助成金

	令和4年度	令和3年度
団体数	9団体	7団体
助成金額	270,000円	175,800円

○歳末援護金

	令和4年度	令和3年度
団体数	17団体	18団体
助成金額	170,000円	178,000円

◇社協出前講座のメニューの充実及び周知・啓発（広報紙等）

住民の学習機会の拡充と社協への理解を深めるため、民生委員児童委員協議会や福祉団体等からの依頼により、「社協の活動」や「健康相談」等、身近な福祉の情報を交えた講座を職員が講師となり実施しました。なお、新型コロナウイルス感染症の影響等により、申請のあった講座のうち3回が中止になりました。

	令和4年度	令和3年度
実施回数	16回	11回

◇新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮世帯への支援

【ひとり親家庭等に対する食材支援】

○期 間：令和4年10月1日～令和4年12月18日 ○食材支援：41世帯

3. 相談援助事業の実施

(1) 福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）の推進（県社協委託事業）

高齢者や障害のある方で、金銭管理等に不安のある方が安心して生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等の預りサービスの援助を行いました。

	令和4年度	令和3年度
生活支援員	10人	7人
活動日数	延べ140日	延べ90日
相談件数	延べ825件	延べ539件
利用契約者	9人（認知症高齢者6人、知的障害者2人、精神障害者1人）	8人（認知症高齢者4人、知的障害者3人、精神障害者1人）

◇事業の周知啓発

社協内情報コーナーにパンフレットの設置、並びにホームページやツイッター、広報紙「社協あさか」にサービス案内を掲載し、事業の周知を図りました。また、民生委員児童委員協議会障害者部会向けに、事業に関する出前講座を行いました。

◇生活支援員研修の実施

福祉サービス利用援助事業の生活支援員として活動して下さっている生活支援員向けに、動画視聴による県社協生活支援員専門研修を行いました。

○期 日：令和5年3月8日

○場 所：朝霞市総合福祉センター

○参加人数：4人

(2) 総合相談支援体制

相談、問い合わせに対し傾聴し、適切な関係機関につなげるとともに、社協内の各部署と連携、情報共有を図り、迅速かつ相談内容に的確に対応できる体制づくりに努めました。

○相談件数：26件（高齢者・障害者関係、子育て、就労、生活困窮、権利擁護等）

(3) 福祉機器の貸出し

○車いす：54件（外出・通院等）

車いすを外出・通院等の支援として貸出ししました。

	令和4年度	令和3年度
貸出回数	54件	29件

4. 福祉資金貸付事業の実施

(1) 生活福祉資金貸付事業（県社協委託事業）

支援を必要とする低所得者世帯及び療養や介護を要する高齢者・障害者世帯等に必要な資金の貸付や相談援助指導を行い、経済的自立と生活意欲の助長促進を図りました。

また、償還が滞り、連絡も取れない世帯に対して、文書と訪問による償還指導を行いました。

	令和4年度	令和3年度
貸付相談	延べ156件	延べ159件
貸付件数	5件	12件
償還指導	39件	44件

(2) 社協福祉資金貸付事業

臨時的な出費や応急的な資金を必要とする低所得者世帯に対し、必要な資金の貸付や相談援助指導を行い、経済的自立と生活意欲の助長促進を図りました。

また、償還が滞り、連絡も取れない世帯に対して、文書と訪問による償還指導を行いました。

	令和4年度	令和3年度
貸付相談	延べ33件	延べ26件
貸付件数	10件	10件
償還指導	21件	19件

(3) 新型コロナウイルス感染症の影響による生活福祉資金特例貸付（県社協委託事業）

生活福祉資金について、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、貸付対象世帯を低所得世帯以外に拡大し、休業や失業等により生活資金にお悩みの方々に向けた、緊急小口資金等の特例貸付を令和2年3月25日から令和4年9月30日まで実施しました。

○貸付相談：延べ585件 ※令和4年4月1日～令和4年9月30日

○貸付件数：緊急小口資金 79件

総合支援資金 54件

総合支援資金（再貸付） ※令和3年度で受付終了

(4) 彩の国あんしんセーフティネット事業の支援

福祉資金貸付事業（生活福祉資金貸付事業及び社協福祉資金貸付事業）等にて相談のあった世帯、および新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮世帯のうち緊急の支援が必要な世帯に対して、彩の国あんしんセーフティネット事業の支援員に代行して食材支援を実施しました。

	令和4年度	令和3年度
福祉資金貸付事業相談	延べ774件	延べ3,174件
上記のうち、セーフティネット事業による支援（食材支援）	27人	34人

5. ボランティア事業の推進

◇ボランティア相談及びコーディネート

○ボランティアの活動状況（ボランティア保険加入状況より）

	令和4年度	令和3年度
個人	104人	433人
団体	390人（31団体）	365人（27団体）

○相談件数

	令和4年度	令和3年度
相談件数	延べ122件	延べ106件

○団体利用室利用状況

	令和4年度	令和3年度
登録団体	12団体	13団体
利用件数	延べ53件	延べ20件

◇ボランティア保険受付出張窓口の実施

来所が困難であるというボランティアの声をうけ、利便性の良い朝霞市市民活動ステーションと連携し、場所を借りてボランティア保険受付窓口を実施しました。

○対象者：①朝霞市イベントボランティア ②朝霞市民等

○期 日：①令和4年6月25日、7月15日（2日間）

②令和5年3月11日、16日、28日（3日間）

○場 所：朝霞市市民活動支援ステーション

○来所者数：①合計10人 ②合計8人

◇ボランティア情報の収集、発信（ボランティアニュースの発行等）

○ボランティアニュース

ボランティア情報を必要としている人へ情報が届くよう、市内公共施設等への配置及びボランティア登録をした人にボランティアニュースを送付しました。

・発行回数：年3回（7月、2月、3月/1回2,000部）

○ボランティアセンターガイドブック

ボランティアセンターガイドブックを活用し、ボランティア相談来所者等に配布、情報の発信を行いました。

◇朝霞地区四市福祉教育研修会の開催（朝霞市・和光市・新座市・志木市社協）

新型コロナウイルス感染症の感染が収束していない中での開催となったため、会場を1ヶ所設けたほか、オンラインを併用し実施しました。（当番市：志木市）

- 対象者：朝霞地区四市で福祉教育に携わる教職員及びボランティア等
- 期 日：令和4年8月4日・5日
- 場 所：志木市総合福祉センター及びオンライン（ZOOM）
- 内 容：1日目 社協の取組について、当事者講演（視覚障害）、事例発表
2日目 当事者講演（身体障害）、
講義「福祉教育の学びのポイント」
講師 文京学院大学 人間学部 教授 中島 修 氏

○参加者

	令和4年度	令和3年度
四市合計	延べ91人	延べ100人
朝霞市内	延べ9人	延べ18人

◇福祉教育の支援、充実

市内小・中学校における福祉教育のコーディネート・支援、福祉体験教室等を行いました。また、4月に福祉教育のメニューと依頼方法についてまとめた案内を市内小中学校及び高校へ送付し、福祉教育の啓発に努めました。新型コロナウイルス感染症の感染リスクを軽減するため手指消毒を行うなど感染対策を講じながら、障害のある方や福祉教育サポーターの協力を得て実施しました。その他、中学校教職員対象の校内研修（中学校一校）にて、社協及び福祉教育についての説明と、視覚に障害のある方の協力を得て講演を行いました。

○依頼件数

	令和4年度	令和3年度
延べ件数	65件	38件
小学校	9校	10校
中学校	2校	0校

- 内 容：事前学習「福祉について」、体験学習（車いす・アイマスク・手話）
講演「視覚障害者への理解」等

○福祉教育用機器貸出件数：25件（DVD・車いす・アイマスク・点字盤等）

◇地域福祉活動の担い手の育成

地域住民同士の支え合い活動を推進するため“住民参加型”在宅福祉サービス あいはあと事業新規協力会員向け講習会を開催しました。

また、令和4年度登録済みの協力会員を対象に「協力会員ミーティング」を実施しました。活動紹介や交流会を通して協力会員同士の連帯感や地域活動を行う“やりがい”を感じてもらふこと、地域の支え合い活動の必要性や役割を学ぶ機会を設けました。

◇ボランティア講座の開催

社会参加や地域活動への参加意欲の向上を図れるよう学びの機会として、また、ボランティア活動のきっかけづくりとなるよう、ボランティア講座を実施しました。

- 期 日：令和4年11月18日
- 場 所：株式会社リゾン本社コミュニティギャラリー
- 内 容：ボランティア活動について、
住民参加型在宅福祉サービスあいはあと事業の説明、
障害のある方への理解（視覚障害のある方のお話、動画視聴）
講座終了後、あさか福祉作業所によるパン販売
- 参加者：14人

◇ボランティア体験プログラムの実施

新型コロナウイルス感染症が収束していない状況下でしたが、参加者や受入施設が安心できるよう、昨年度と同様、参加者には活動日2週間前からの体調管理（チェックシート作成）と、活動日当日には、新型コロナウイルス感染症に関する確認票を記入し活動先に提出してもらい、事業を実施しました。また、事前の説明会は、密を避けるために、2回実施しました。

- 対象者：市民及び近隣のボランティア活動体験希望者
- 期 間：令和4年7月～10月
- 場 所：市内各福祉施設等
- 参加者：延べ30人

【説明会】

- 期 日：令和4年7月9日 2回実施
- 参加者：18人
※説明会に都合がつかず、個別に説明：12人

◇災害ボランティア講座の開催

令和4年2月に実施予定で新型コロナウイルス感染症の影響により延期した、災害ボランティア講座を開催しました。

- 期 日：令和4年5月14日
- 場 所：朝霞市総合福祉センターはあとぴあ アリーナ
- 内 容：朝霞市における危機管理体制、
地域や被災地で活動するための災害ボランティアの基本について
- 参加者：29人

◇ “住民参加型” 在宅福祉サービス あいはあと事業の実施

日常生活のちょっとした困りごとを解決するため“住民参加型”在宅福祉サービス あいはあと事業を地域住民に協力いただき実施しました。

地域住民に事業の情報を分かりやすく伝えるため、本会ホームページ・パンフレットの内容を変更し、サロン訪問時にはパンフレットを配布するなど周知活動を行いました。また、広報紙「社協あさか」に利用会員向けの記事を掲載し、情報提供に努めました。

地域の担い手として活躍する人材を確保するため新規協力会員向け講習会を開催し、利用会員のニーズに応えられる体制を整えました。また、協力会員を対象に「協力会員ミーティング」を実施し、協力会員の活動紹介や地域活動を行う“やりがい”について意見交換し、地域の支え合い活動の必要性や役割について理解を深めました。

関係機関の専門職・支援者等に本事業を理解してもらうため、新規協力会員向け講習会の参加依頼を行いました。また、必要に応じて関係機関と情報共有を行い、利用会員宅へ訪問時は同行してもらうなど、関係機関と顔の見える関係づくりを行いました。

【活動実績】

	令和4年度	令和3年度
相談件数	167件	157件
利用会員数	121人 (定期49人 単発72人)	101人 (定期36人 単発65人)
利用会員内訳	高齢者92人 障害者13人 子育て12人 その他4人	高齢者75人 障害者17人 子育て5人 その他4人
協力会員数	74人	89人
利用・活動日数	延べ915日	延べ599日
利用・活動時間	延べ1152時間15分	延べ797時間45分

【新規協力会員向け講習会】

- 開催日：令和4年8月9日・11月8日（ボランティア講座内で実施）
令和5年1月14日・3月2日・個別説明（9回）
- 開催方法：オンライン説明（3回）、ボランティア講座（1回）、
個別説明（総合福祉センター）（9回）
- 参加人数：24人（内：オンライン13人、ボランティア講座2人、個別説明9人）
- 参加者内訳：一般市民18人、地域包括支援センター・居宅介護支援事業所4人
市役所職員2人

【協力会員ミーティング（フォローアップ研修会）】

- 開催日：令和5年2月25日
- 場所：朝霞市総合福祉センター
- 対象者：あいはあと事業協力会員（令和4年度登録者）
- 参加者：24人
- 内容：あいはあと事業活動紹介（事例紹介）、交流会、地域福祉に関する動画視聴

6. 市委託事業の受託経営

(1) 手話通訳者等派遣事業

手話を必要とする聴覚障害者等の生活におけるコミュニケーションの円滑化、社会参加の促進を図るため手話通訳者の派遣を行いました。

	令和4年度	令和3年度
依頼件数	545件	501件
派遣件数	526件 (個人381件・自治体57件・学校29件・団体59件)	479件 (個人388件・自治体42件・学校18件・団体31件)
派遣人数	延べ623人 (専任延べ246人・登録延べ330人・他機関派遣協力47人)	延べ567人 (専任延べ224人・登録延べ309人・他機関派遣協力34人)

◇手話通訳者の育成

手話講習会	期 日	受講者	講 師	アシスタント
入門	令和4年5月 ～令和4年9月	8人	佐野立太郎氏 (NPO法人手話教師センター)	あさか手話サークル あじさい
基礎	令和4年10月 ～令和5年3月	9人	佐野立太郎氏 (NPO法人手話教師センター)	あさか手話サークル あじさい
基礎(夜)	令和4年4月 ～令和4年9月	8人	戸田康之氏 (朝霞市聴覚障害者協会)	あさか手話サークル あじさい
中級(夜)	令和4年10月 ～令和5年3月	10人	森永慶子氏 (NPO法人手話教師センター)	あさか手話サークル あじさい

◇朝霞市登録手話通訳者試験

- 期 日：令和4年4月27日
- 受 験 者：2人
- 合 格 者：0人

◇手話体験会

- 期 日：令和4年7月29日・8月5日・19日・26日
- 参 加 者：14人

◇朝霞市(手話通訳者等派遣事務所)主催講演会

- 期 日：令和5年1月28日
- 講 師：那須英彰氏・那須映里氏
- 参 加 者：97人

◇要約筆記(PC)体験会

- 期 日：令和5年3月4日
- 講 師：手話通訳問題研究会(要約筆記者班)
- 受 講 者：8人

(2) 一般介護予防事業

市内の概ね65歳以上の方を対象に、高齢者が健康的に生きがいを持ち地域の様々な活動に主体的に参加できるよう、住民運営の通いの場の創出や、人と人との交流の場の拡充を目指し事業に取り組みました。

『ノルディック・ウォーク教室』、『切り絵講座』からは新たな自主グループが立ち上がりました。『健康太極拳教室』は、朝霞の森や市内公園で近隣住民自由参加型の実施を開始しました。

また、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響による高齢者のフレイル(虚弱な状態)の加速が心配されるため、市内病院のリハビリ専門職と連携してフレイル予防体操講座を実施しました。

令和4年度	期間	回数	延べ人数
ノルディック・ウォーク教室 (連続講座)	4月～ 5月 10月～12月	7回 8回	156人
ノルディック・ウォーク フォローアップ事業	11月～ 3月	8回	99人
健康太極拳教室 (連続講座)	9月～ 2月	24回	719人
切り絵講座 (連続講座)	9月～11月	7回	83人
切り絵体験教室	6, 7, 8, 11月	5回	54人
普段の生活の中で実践できる 『“ながら”体操』 (フレイル予防体操講座)	2月	3回	50人
各自主グループ継続支援 (ノルディック・太極拳・切り絵・健康体操)	随時実施	114回	1,388人
他各種講座 (気功、脳活、熱中症予防、 太極拳、介護予防体操)	随時実施	13回	160人
健康相談	6月	1回	27人
老人クラブ支援	随時実施	29回	701人

7. 指定管理事業の受託経営

(1) 朝霞市総合福祉センター指定管理事業

【朝霞市総合福祉センター管理】

地域福祉の向上を図るため、各種の福祉サービスや情報、活動の場を提供する複合施設の建物・設備・備品の総合管理を行いました。

	令和4年度	令和3年度
開館日数	293日	292日
共用施設利用状況	514件	542件
利用人数	延べ4,621人	延べ4,525人

※共用施設：集会室、社会適応訓練室、調理実習室、介護者教育室

○消防訓練の実施

有事に際し、被害を最小限にとどめるため、訓練を実施し技術の向上を図りました。

- ・第1回 令和4年10月26日 参加者：100人（火災想定避難訓練）
令和4年12月9日 参加者：45人（起震車体験・煙体験）
- ・第2回 令和5年2月24日 参加者：110人（火災想定避難訓練）

○はあとびあふれあい祭り

新型コロナウイルス感染症感拡大防止対策を講じたうえで、障害の有無や世代に関わらず交流を図ることを目的に実施しました。

- ・期 日：令和4年11月23日
- ・来 場 者：延べ396人

【はあとびあ福祉作業所】

障害者総合支援法に基づく多機能型施設として、生活介護における入浴、日常生活動作の維持向上支援並びに創作的活動、スヌーズレンによる感覚統合支援、就労継続支援B型における作業訓練や生活訓練等のサービスを提供しました。

なお、新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、事業の実施に努めました。

①開 所 日：月曜日～金曜日

②利用者数（年度末）

	令和4年度		令和3年度	
	定員	利用者数	定員	利用者数
生活介護	36人	32人	36人	32人
就労継続支援B型	44人	29人	44人	30人
合 計	80人	61人	80人	62人

③通所状況

送迎サービスの他、自転車、徒歩による自主通所

④主な作業内容

○市内外の事業者からの請負作業

令和4年度		令和3年度		主な受注作業
業者数	売上	業者数	売上	
15社 社協3部署	2,426,986円	15社 社協3部署	2,437,455円	食品容器シール貼り、熱処理 部品スプリング通し、封入封 緘、タオル・靴下ストックン グ返し作業、景品封入れ、バ スマットクリーニング及び 交換作業等

○社会参加活動

実施事業	中止した事業
自主製作品展示販売会、(株)リゾン・コミュニティスペース「ライブラリーサロン」への自主製品等の展示	なし

⑤花壇植栽管理整備事業（市委託事業）

ふれあい花壇、朝霞駅南口広場花壇、朝霞市役所庁舎内プランターの植栽、灌水、除草、清掃等の管理整備

令和4年度		令和3年度	
業務内容	売上	業務内容	売上
ふれあい	4,320,800円	ふれあい	4,746,579円
朝霞駅南口広場	885,500円	朝霞駅南口広場	885,500円
朝霞市役所庁舎内	58,080円	朝霞市役所庁舎内	60,390円

⑥喫茶室「お花畑」の運営（毎週火曜日～金曜日） ※一部営業時間を短縮して営業

令和4年度			令和3年度		
営業日数	利用者数	売上	営業日数	利用者数	売上
231日	1,842人	686,350円	185日	1,221人	427,020円

⑦売店「はっぴい」の運営（毎週火曜日～金曜日） ※一部営業時間を短縮して営業

令和4年度			令和3年度		
営業日数	利用者数	売上	営業日数	利用者数	売上
185日	2,513人	2,707,167円	168日	2,357人	1,827,220円

○出張販売

実施事業（一部変更した事業を含む）	中止した事業
市役所、朝霞市防災フェア、ふれあいマルシェ	なし

⑧カフェ・売店「ル・クール」の運営（毎週月曜日～金曜日）

令和4年度			令和3年度		
営業日数	利用者数	売上(委託金含)	営業日数	利用者数	売上(委託金含)
18日	190人	646,593円	16日	228人	673,004円

※あさか福祉作業所と合同で運営しているため、委託金は折半、売上金は執行額に応じて、あさか福祉作業所と按分

⑨主な年間行事

実施事業	中止した事業
保護者懇談会、個別面談、朝霞市ふれあいスポーツ大会、避難訓練（地震、火災、水害を想定し、避難所への避難を想定した訓練も実施）、はあとびあふれあい祭り、日帰り課外体験研修、保護者交流会、誕生日会、健康増進体操事業、理学療法、作業療法、音楽療法、社会生活力事業	赤い羽根共同募金街頭募金、彩夏祭「鳴子踊り」

⑩保健衛生

実施事業	中止した事業
利用者健康診断、精神科健診、歯科検診、内科検診、生活習慣病予防事業等	なし

⑪ボランティアの受入

令和4年度		令和3年度	
受入人数	0人	受入人数	0人
活動内容	なし	活動内容	なし

【はあとびあ障害者就労支援センター】

市内在住の障害のある方やその家族、また関係する事業所、施設、教育、医療機関等を対象に、障害のある方の就労支援と生活支援を総合的に行うことにより、一般就労の拡大を図るとともに、自立と社会参加の促進を目的に支援を行いました。

情報の共有や統一した支援の提供を目的に、はあとびあ障害者相談支援センターと合同で会議を開催し、情報提供と日ごろからの連携の必要性の共有を図りました。また、「社会生活力を高め地域で生活するうえで必要なスキルを身につける」ことを目的として、市内業者を講師に招き講座を開催しました。このほか、台風や新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた茶話会を4年ぶりに開催することができました。

○登録者数・就職者数

		身体	知的	精神	その他	合計
令和4年度	登録者	52人	120人	219人	11人	402人
	就職者	6人	14人	15人	0人	35人
令和3年度	登録者	45人	112人	202人	13人	372人
	就職者	5人	7人	9人	0人	21人

○就職先の主な職種

職種	身体障害	知的障害	精神障害	その他
事務職	3人	1人	8人	
小売店品出し		4人		
製造業		1人		
ピッキング・仕分け・軽作業		6人	2人	
食品製造		1人		
農作業	2人		1人	
調理	1人			
相談員			1人	
清掃			1人	
就労継続A型		1人	2人	
計	6人	14人	15人	0人

○事業所・関係機関との連携

新規事業所開拓	26件 (令和3年度25件)	雇用相談	延べ 884件 (令和3年度延べ762件)
調査研究・普及啓発	延べ 113件 (令和3年度延べ20件)	関係機関との連携	延べ 1,120件 (令和3年度延べ863件)

○余暇支援事業

- ・朝霞市ふれあいスポーツ大会参加
期 日：令和4年9月25日
場 所：朝霞市立総合体育館
参加者：6人
- ・気功体験
期 日：令和4年11月19日
場 所：朝霞市総合福祉センター
参加者：9人
- ・社会生活力向上支援
 - ①センター紹介動画配信（YouTube）
 - ②講座「障害のある方が一人暮らしをするために」
期 日：令和5年2月27日
場 所：朝霞市総合福祉センター
参加者：29人
講 師：株式会社リゾン

【はあとぴあ障害者相談支援センター】

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、障害のある方が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう身体の状態、環境等に応じて、利用者及びその保護者からの相談に対し、適切な障害福祉サービス等が多様な事業者から総合的かつ効果的に提供されるよう関係機関等との連携により、生活全般の支援等を行いました。

令和4年度も、情報の共有や統一した支援の提供を目的に、ふれあい障害者相談支援センターとの調整会議や、障害者就労支援センターと合同で会議を開催しました。これにより、情報提供と日ごろからの連携の必要性を共有することができました。

○高次脳機能障害の理解

対象者：近隣障害福祉サービス事業所等

期 日：令和4年6月22日

場 所：朝霞市総合福祉センター（はあとぴあ）第1・2会議室

参加者：33名

講 師：埼玉県高次脳機能障害者支援センター ケースワーカー他

○障がいのある方の「親なきあと」に向けて

対象者：障害のある子を持つ家族

期 日：令和4年11月28日

場 所：産業文化センター 多目的ホール

参加者：76名

講 師：社会福祉士・行政書士

○障害児のライフプラン

対象者：市内障害福祉サービス事業所等

期 日：令和5年3月24日

場 所：朝霞市総合福祉センター（はあとぴあ）第1会議室

参加者：22名

講 師：朝霞市教育委員会 職員

○施設見学会

対象者：グループホームの利用に興味のある市民

期 日：令和5年3月24日

場 所：ふわふわ富士見、ビートルケア関沢、アプリケアワークス鶴瀬駅西口

参加者：13名

<基本相談>

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
令和4年度 利用者数	119人	183人	1,529人	439人	2,270人
相談件数	118件	184件	1,503件	440件	2,245件
令和3年度 利用者数	37人	71人	206人	179人	493人
相談件数	136件	341件	741件	350件	1,568件

<計画相談>

	障害者契約者数	障害児契約者数	合計
令和4年度契約者数	119人	83人	202人
令和3年度契約者数	131人	88人	219人
支援内容	◇福祉についての情報提供・総合的相談 ◇福祉サービスや福祉施設等の利用方法の説明・紹介・仲介 ◇福祉事務所、児童相談所、福祉施設、教育機関等との調整及び連携 ◇療育相談（発達に心配のある子どもに関すること） ◇サービス等利用計画の作成や訪問等による継続支援 ◇障害児支援利用計画の作成や訪問等による継続支援 ◇権利擁護に関する支援等		

(2) 朝霞市老人福祉センター指定管理事業

60歳以上の高齢者が健康で明るい生活を営むための一助として、各種教室を開催しました。

○利用状況

区 分	浜崎老人福祉センター		溝沼老人福祉センター	
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
開館日数	293日	293日	293日	293日
年間利用者数	27,656人	30,440人	44,417人	38,328人
1日平均利用者数	94人	104人	152人	131人
個人利用者数	18,974人	27,305人	41,856人	35,459人
団体利用者数	1,285人	538人	1,540人	762人

○高齢者健康相談

区 分	浜崎老人福祉センター		溝沼老人福祉センター	
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
実施日数	年3回	年1回	年1回	年2回
相談件数	0件	3件	27件	34件

※「健康講座」の際に健康相談会（希望者のみ）を実施しました。

(3) 朝霞市児童館指定管理事業

児童が健全な遊びを通して健康を増進し、情操を豊かにすること等を目的に実施しました。

○利用状況

児童館名	開館日数		年間利用者数		1日平均利用者数	
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
きたはら	292日	292日	25,792人	19,947人	88人	68人
はまさき	293日	293日	14,721人	12,839人	50人	44人
みぞぬま	293日	293日	43,049人	38,444人	147人	131人
ねぎしだい	293日	293日	20,228人	19,491人	69人	67人
ひざおり	293日	291日	27,702人	20,348人	95人	70人
ほんちょう	293日	292日	41,406人	32,370人	141人	111人
合計	1,757日	1,754日	172,898人	143,439人	—	—

○主な年間事業

幼児・児童事業、工作事業、館外事業、交流事業、合同事業、夏まつり、クリスマス会、春まつり、ランドセル来館事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じたうえで実施しました。

(4) 朝霞市放課後児童クラブ指定管理事業

保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に就学している1年生から6年生の児童に対し、授業の終了した放課後及び夏・冬・春休み・土曜日等の学校休業日に放課後児童クラブにおいて家庭に代わる生活の場を確保し、適切な遊びや指導を行うことにより、児童の健全な育成を図るとともに、保護者の仕事と子育ての両立を支援しました。

○放課後児童クラブの状況

クラブ名	定員		在籍数(年度当初)		延べ児童数	
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
本町	115人	115人	110人	109人	1,258人	1,267人
朝志ヶ丘	150人	150人	166人	163人	1,871人	1,823人
岡	122人	122人	123人	121人	1,341人	1,244人
膝折	130人	130人	107人	106人	1,085人	1,080人
栄町	135人	135人	124人	131人	1,383人	1,436人
浜崎	148人	148人	144人	145人	1,578人	1,624人
泉水	125人	125人	152人	156人	1,706人	1,745人
幸町	98人	98人	91人	94人	983人	991人
根岸台	80人	80人	73人	69人	854人	659人
溝沼	140人	140人	137人	129人	1,502人	1,396人
合計	1,243人	1,243人	1,227人	1,223人	13,561人	13,265人

○主任会議・指導員会議の開催 1回/月

○主な年間事業

お誕生会、調理実習、季節の行事、伝承遊び、あそびンピック(10クラブ統一事業)等
※調理実習は、新型コロナウイルスの感染予防対策のため中止しました。

(5) 朝霞市障害者ふれあいセンター指定管理事業

【朝霞市障害者ふれあいセンター あさか福祉作業所】

障害者総合支援法に基づく多機能型施設として、生活介護における日常生活動作の維持向上支援並びに創作的活動、スヌーズレンによる感覚統合支援、就労継続支援B型における作業訓練や生活訓練、就労移行支援における一般就労に向けた訓練や企業見学・実習等のサービスを提供しました。

令和4年度は、令和3年度と同様に、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら事業を実施しました。

①開 所 日：月曜日～金曜日

②利用者数(年度末)

サービス	令和4年度		令和3年度	
	定員	利用者数	定員	利用者数
生活介護	15人	12人	15人	11人
就労移行支援	8人	0人	8人	1人
就労継続支援B型	37人	27人	37人	27人
合計	60人	39人	60人	39人

③通所状況

送迎サービスの他、路線バス、自転車、徒歩等による自主通所
(就労移行支援は自主通所のみ)

④主な作業内容

○市内外の事業者からの請負作業等

令和4年度		令和3年度		主な受注作業
業者数	売上	業者数	売上	
7社 本会1部署	2,763,625円	8社 本会1部署	2,944,195円	プラスチック部品組立、機械用オイル詰め・箱入れ作業、線香箱詰め、資材梱包等

○パンの製造販売

【こんがりパンの店「フレア」】

令和4年度		令和3年度		主な販売場所
販売回数	売上	販売回数	売上	
131回	4,373,240円	125回	3,997,180円	店頭販売、市ブース販売、注文販売等

○カフェ・売店「ル・クール」の運営（毎週月曜日～金曜日）

令和4年度			令和3年度		
営業日数	来客者数	売上	営業日数	来客者数	売上
18日	190人	510,467円	16日	228人	504,986円

※はあとびあ福祉作業所と合同で運営しているため、委託金は折半、売上金は執行額に応じて、はあとびあ福祉作業所と按分

※新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、対面でのコーヒー販売を休止し、お菓子等の無人販売を実施

○社会参加活動等

自主製作品展示販売会（市役所）

市内企業での社員向けパン販売会

⑤就労支援（就労移行支援）

特別支援学校の生徒を対象に、卒業後の就労を見据えた体験実習を実施しました。

○体験実習：1回（埼玉県内の特別支援学校3年生）

⑥主な年間行事

個別面談、外出事業（日帰り課外体験研修代替事業）、音楽療法、作業療法指導、消防訓練等

⑦保健衛生

利用者健康診断、精神科健診、歯科検診等

⑧ボランティア・実習生等の受入れ

○受入人数：延べ4人（社会福祉士援助技術実習、保育士実習、介護等体験）

○内 容：利用者との交流、作業やレクリエーションへの参加

⑨ふれあいセンターの管理運営

ふれあいセンターの設備・備品の管理、建物の総合管理を行うとともに、施設内の清掃や消毒、入館時の検温及び手指消毒の徹底等、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に努めました。また、施設と地域との顔の見える関係を構築し、障害福祉への理解や促進を図ることを目的として、障害者ふれあいセンターまつり『ふれあいマルシェ』を初開催しました。

○障害者ふれあいセンターまつり『ふれあいマルシェ』の開催

・開催日 令和4年11月12日

参加者：約300人

○消防訓練（避難・消火・通報）の実施

・第1回 令和4年9月27日

参加者：51人（利用者33人・職員18人）

・第2回 令和5年2月24日

参加者：53人（利用者35人・職員18人）

※例年、施設周辺の地域住民との関係性を深めることができるよう、地域の方にも参加を呼びかけていますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設利用者及び職員のみで実施しました。

【ふれあい障害者相談支援センター】

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、障害のある方が自立した日常生活又は社会生活を営むため、利用者及びその家族からの相談に対応しました。相談の際は、利用者の身体の状況や環境等に応じて、適切な障害福祉サービス等が多様な事業者から総合的かつ効果的に提供されるよう関係機関等との連携を図り、生活全般の支援等を行いました。

また、令和4年度も、情報の共有や統一した支援の提供を目的に、はあとぴあ及びふれあい障害者相談支援センターとの調整会議や、はあとぴあ障害者就労支援センターを含めた合同会議を開催しました。

	身体	知的	精神	高次脳機能	障害児	計
令和4年度契約者数	12人	59人	7人	1人	35人	114人
令和3年度契約者数	14人	60人	7人	1人	27人	109人
支援内容	◇サービス等利用計画の作成や訪問等による継続支援 ◇障害児支援利用計画の作成や訪問等による継続支援 ◇福祉についての情報提供、総合的相談 ◇福祉サービスや福祉施設等の利用方法の説明、紹介、仲介 ◇福祉事務所、福祉施設、教育機関等との調整及び連携 ◇権利擁護に関する支援等					

8. その他社協関連事業

(1) 埼玉県共同募金会朝霞市支会の事務局

◇支会理事会の開催

- 令和4年6月13日 朝霞市総合福祉センター会議室 出席数10人(監事2人含む)
 - ・令和3年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会事業報告について
 - ・令和3年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会資金収支計算書について
- 令和4年9月6日 朝霞市総合福祉センター会議室 出席数10人(監事2人含む)
 - ・令和3年度共同募金運動の実施について
- 令和5年3月17日 (同意書による決議の省略)
 - ・令和5年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会事業計画について
 - ・令和5年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会資金収支予算について

◇赤い羽根共同募金運動説明会

- 対象者：自治会・町内会
- 期 日：令和4年9月13日
- 場 所：朝霞市総合福祉センター会議室

◇赤い羽根共同募金

- 強調月間：令和4年10月1日～令和4年10月31日
 - 目 標 額：7,000,000円(令和3年度目標額：7,000,000円)
 - 実 績 額：6,562,683円(令和3年度実績額：6,302,374円)
- ※ご協力いただいた募金は、全額、埼玉県共同募金会へ送金しました。

◇地域歳末たすけあい募金

- 期 間：令和4年11月20日～令和5年3月31日
 - 目 標 額：4,000,000円（令和3年度目標額：4,100,000円）
 - 実 績 額：4,261,731円（令和3年度実績額：4,440,524円）
- ※ご協力いただいた募金は、全額、埼玉県共同募金会へ送金しました。

(2) 日本赤十字社埼玉県支部朝霞市地区の事務局

◇日赤会員募集説明会開催

- 対象者：自治会・町内会長
- 期 日：令和4年4月14日
- 場 所：朝霞市総合福祉センター会議室
- 参加者：24人

◇会員会費・寄付金募集

- 期 間：令和4年5月1日～令和5年3月31日
 - 目 標 額：7,761,300円（令和3年度目標額：7,761,300円）
 - 実 績 額：5,278,760円（令和3年度実績額：5,333,842円）
（自治会・町内会：5,213,744円 個人・企業：65,061円）
- ※ご協力いただいた会費は、全額、日本赤十字社埼玉県支部へ送金しました。
- 会員の表彰：特別社員章（個人：1人 法人：1件）
支部長表彰（法人：1件）